

学校教育目標
「自ら考え
共に輝く」

共に輝く

学校だより No.6

2022年(令和4年)7月4日

福山市立旭丘小学校

「たまたま箱」が開くたびにみんなが笑顔になっていく!

～ 心の栄養 「にっこり! たまたま箱」～

先週、中国地方は14日間という観測史上最短での梅雨明けとなり、あっという間に夏本番です。登校してくる子ども達の姿にも疲れが見え始めています。こまめな水分補給に加え、食事や睡眠などを適切にとりながら体調管理に気を付けたいものです。

先日、素敵なお昼の放送に出会いました。6年生の頑張りや、日頃感じている6年生に対する感謝の気持ちを他学年や教職員が放送で伝えるという取組でした。一部を紹介します。

【5年生からの「にっこり! たまたま箱」】

- ・掃除の班長として、低学年に「ここはこうするんだよ。」と優しく、分かりやすく伝えていた。私もそんな素敵な6年生になりたいと思った。
- ・登校班の班長として、みんなのスピードを見ながら歩いてくれる。1年生があせったり不安になったりしないように自然な優しさができるのが素敵だなと思った。
- ・委員会の委員長として、「ここはこうした方がいいんじゃないの。」といつもみんなが行動しやすいように声をかけてくれる。私もそんな優しい6年生になりたい。



【「にっこり! たまたま箱」で紹介された6年生の感想】

- ・「にっこり! たまたま箱」で名前が呼ばれて、すごくうれしかった。これからも困っている人がいたら助けてあげたいと思った。
- ・学校のリーダーとしていろんなことをしてきて、それを認めてもらえた気がしてうれしかった。これからも学校のリーダーとして責任を持ってやっていきたい。
- ・私たち6年生には、まだまだたくさんの仕事があると思うので、これからもみんなに尊敬されるリーダーになって、最後まで責任を果たしたいと思う。

放送をしていた5年生児童と話しました。自分達が1年生の時には「にっこり! たまたま箱」は、すでに行われていたこと、来年6年生になったら下級生から頑張っていることや感謝の気持ちを伝えられることへの期待や喜びでドキドキする胸の内を話してくれました。

「あんな6年生になりたい!」そんな下級生の手本となる最高学年を育ててきたこの旭丘小学校の伝統的な取組が、これからも受け継がれていくことを願っています。

みんなの願い、届くといいな! ~ セタかざり ~

七夕を前に、校内には子ども達の思いのこもった七夕飾りが飾られています。一人一人が願いを込めて短冊をつるしています。将来なりたい夢ややりたいこと、また、「コロナがおさまってほしい」という短冊も多く見られました。願いが届き、思い出いっぱい夏休みや2学期が迎えられるといいですね。



お家の方から頂いたパレーンアート



七夕祭りに向けて(1年生)



【学年費等の集金方法変更について(お知らせ)】

現在、学年費等の集金の際、児童が現金を学校へ持参しています。そこで、現金を学校に持参することに対するトラブル防止や防犯等を考慮して、来年度よりゆうちょ銀行での学年費等自動振り込みを実施します。

手続きの詳細については、9月にお知らせしますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。